

ねりま区報

6/1 令和7年(2025年)

第2081号 毎月1日・11日・21日発行

発行/練馬区 編集/広聴広報課
〒176-8501 豊玉北6-12-1
☎03-3993-1111(代表) FAX 03-3993-1194
https://www.city.nerima.tokyo.jp/

今号の注目情報

- みどり豊かな住まいづくりを応援します! 2面
- ねりコレ2026大募集! 11面
- 防ごう、熱中症! 12面



真夏の音楽会 (vol.8)

大谷康子と楽しむ音楽の旅

世界の名画を訪ねて

日本を代表するバイオリニスト・大谷康子さんが、「絵画」にちなんだ名曲の数々をお届けします。

大谷康子
(バイオリン・司会)
©Yukisuke Fushimi

問合せ 文化振興係 ☎5984-1284 FAX 5984-1228

※チケット販売に関する問い合わせは練馬文化センター ☎3993-3311。

出演

大谷康子 (バイオリン・司会)

飯森範親 (指揮)

NHK交響楽団 (管弦楽)

曲目

- J.シュトラウスII世 / 喜歌劇「こうもり」序曲
- シュトルツ (萩森英明編曲) / 映画「モナ・リザの失踪」より
- レスピーギ / 「ポッティチェリの3枚の絵」より「ヴィーナスの誕生」
- ムソルグスキー (ラヴェル編曲) / 組曲「展覧会の絵」より「バーバ・ヤーガ」「キエフの大門」

企画構成：伊藤裕太

など



写真提供 3
NHK交響楽団

飯森範親
(指揮)
©山岸伸

8/30(土)16:00開演 練馬文化センター 大ホール

■入場料(全席指定)

S席4,000円、A席3,000円、車いす席1,000円(同伴者1名は無料)

■チケットの予約(先着順)

6/13(金)10:00から ①練馬文化センターチケット予約電話 ☎3948-9000(午前10時~午後5時)

②練馬文化センターHP

6/14(土)10:00から ③練馬文化センター・大泉学園ゆめりあホール窓口(午前10時~午後8時)



※車いす席を利用したい方は、①にお問い合わせください。

※1人2枚まで予約できます。

※6月13日に予定枚数に達した場合は、窓口での販売はありません。

※未就学児は入場できません。

※曲目は変更になる場合があります。

5階の窓から



米国のトランプ大統領が就任して半年、世界は今、戸惑いの渦中にあります。あの偉大だった米国は何処へ行ったのか、信じられないのです。

二十世紀以降の世界史をリードしてきたのは米国でした。経済的・軍事的に強大だっただけでなく、豊かな市民生活、科学、技術、文化など様々な面で世界の憧れでした。それだけではありません。

多数派のワスプ(白人、アングロサクソン、プロテスタント)は、厳格なモラルと規律、社会的責任感に優れ、自由と平等は世界の被圧迫民の希望でした。我々日本人も、悔しいけれど日本の敗戦は必然だったと納得するしかない。それだけの人類史的価値を体現していました。

それがどうでしょう、今やモラルはゼロからマイナスへ転落、中国並みに自国ファーストに終始、閣議はトランプ礼賛で、北朝鮮の金正恩礼賛と同レベルだと英国誌に揶揄される始末です。

リンカン、ルーズベルト、ケネディのアメリカは何処へ行ったのか。なかでも、リンカンの落差は目を覆います。南北の内戦を、奴隷解放が目的だと位置づけたのはリンカンでした。当時は北部でも、奴隷解放を戦争目的とすることに反対が多く、ニューヨークでは黒人虐殺の暴動が起きたくらいでした。死者だけで65万人に達した凄惨な戦いに厭戦気分も高く、南部が連邦に帰属さえすれば全てを許そうという雰囲気も根強かったのです。

それをリンカンは、独立宣言に立ち戻り「すべての人間は自由かつ平等に造られている」と、奴隷解放宣言を発して戦い抜き、世界の民主主義の土台としました。些細な理由で途上国留学生を強制送還している現状を見たら、リンカンは何と云うでしょうか。

私は一自治体の首長に過ぎませんが、自治に生きる者として、リンカン民主主義の系譜に連なる者でありたい。心から願っています。

練馬区長 前川 耀男